

西名誉会長 旭日双光章 受章 !!

当連盟名誉会長 西 恒成氏が内閣府より
旭日双光章を頂きました。



令和2年秋の叙勲
で西恒成名誉会長
が、旭日双光章を
受章されました。



西 恒成名誉会長

おめでとうございます。

コロナ禍での講習会

栄養サポート講習会開催 !!



令和2年10/17(土)~4回に亘って、北陸体力科学研究所 中崎 衣美先生を講師に招き、リモートでの栄養サポート講習会を開催しました。

初のリモートで安全指導講習会開催!!

令和2年9/27(日)に対面とリモートでの安全指導講習会を開催しました。

初めてのリモートでの試みでしたが、蜜を避けての講習会の手ごたえを感じました。



第21号

2021年 3月31日
発行 石川県柔道連盟
編集 広報委員会



県柔連会長
上田 重隆

「指導者の育成を考える」(柔道人は世を補益する...)

今年度は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、ついには緊急事態宣言が発せられるほど未曾有の出来事で社会全体、多方面に多大な影響を及ぼしています、スポーツ界においても柔道に止まらずすべての競技が甚大な影響を受けています。

本連盟としても、この時期だからこそ出来ることを考え、実施しなければならないことを考えると、令和2~3年の基本方針でもある指導者の育成、その在り方を今一度述べたいと思います。

指導者は常に自己研鑽に努め、技術・トレーニングの研究、理論の研究、生理的研究、心理的研究、その他の研究と修養を怠らないよう、自己研鑽に努める姿勢は直ちに指導者周囲の環境を変え関係者の心に伝わり、成果が上がるか否かに関することは大であり、その技術、見識等の豊かさは周囲の活躍に影響する。

指導者自身、柔道について確固たる考えを把持していなければならないし、考えもなく目標もない指導は、盲者が人を案内するようなもので、危険極まりないことで、また

仮に考えを持っていても、それが低級なものである場合は、柔道の価値や考えを十分発揮することはできない。

理想とすれば柔道について十分修業を積んでいることが望ましいが、何より生活行動、精神においても理論においても尊敬を得られなければならない事、そして目標を持ち、具現化しようとする時は、熱意が大切であり、熱意ある人は人を動かし、不可能を可能にする。その心があることによって、自己の指導・行動に忠実であり、自己研鑽を続ける事にもつながる。

嘉納治五郎先生いわく、「柔道人の成すべきことは、世を補益する人を作る。」

指導者はそうした人を世に送り出し、社会貢献することを考えたとき、その位置は甚だ重要である、更に指導に携わる方々もここに思いを及ぼし、遠大なる抱負をもって自己研鑽と柔道自体の認知度、高い必要性を紹介し広める使命感に努めなければならない。

関係者の皆様には大変な時期ではありますが今一度、石川柔道の発展のため、自己の向上と一層の研鑽に努められること、今後もご協力ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

大会成績

< 小学生 >

第40回全国少年柔道大会 5/5 東京・講道館

※COVID-19(新型コロナウイルス感染症)拡散防止のため中止

第17回全国小学生学年別柔道大会石川県大会 5/31 石川県立武道館

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止

第17回全国小学生学年別柔道大会 8/30 横浜武道館

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止

第45回石川県少年少女柔道大会 11/8 石川県立武道館

※新型コロナウイルス感染症対策のため、個人戦小学生男子3階級、女子2階級のみ実施。団体戦、個人戦中学生の部は実施せず。

団体1部	中止
団体2部	中止
団体3部	中止

男子個人	女子個人
小学男子軽量級 優勝 坂井 悠人(坂田)	小学女子軽量級 優勝 三崎せれな(坂田)
小学男子中量級 優勝 廿日岩瑛太(坂田)	小学女子重量級 優勝 坂 明音(犀川)
小学男子重量級 優勝 水道 啓人(中能登)	中学生女子の部 中止
中学男子軽量級 中止	
中学男子重量級 中止	

第41回全国少年柔道大会石川県大会 R3/3/14 石川県立武道館

団体 優勝 輪島柔道教室 2位 窪田柔道倶楽部
3位 松任柔道スポーツ少年団 3位 邑知少年柔道教室

男子個人
3年男子 優勝 北野 誠大(中能登柔道教室)
6年男子軽量級 優勝 池田空羽太(松任柔道スポーツ少年団)
6年男子中量級 優勝 廿日岩瑛太(鶴来坂田道場)
6年男子重量級 優勝 水道 啓人(中能登柔道教室)

女子個人
3年女子 優勝 作田 涼(内灘町少年柔道教室)
6年女子軽量級 優勝 三崎せれな(鶴来坂田道場)
6年女子重量級 優勝 藤本 春菜(松任柔道スポーツ少年団)

大会成績

〈 中 学 生 〉

第20回石川県中学生新人柔道大会	2/6	松任総合運動公園体育館柔道場	男子団体 優勝 高尾台中 2位 北辰中 3位 内灘中 3位 笠間中	女子団体 優勝 高尾台中 2位 北辰中 3位 笠間中 3位 中能登
男子個人	女子個人			
50kg級 優勝 山根 凧知(笠間中)	40kg級 優勝 大西いろは(笠間中)			
55kg級 優勝 大島寛次郎(中能登中)	44kg級 優勝 山崎 愛(北辰中)			
60kg級 優勝 村 一刀齋(高尾台中)	48kg級 優勝 黒宮 美咲(御幸中)			
66kg級 優勝 野中 海心(北辰中)	52kg級 優勝 平 彩乃(笠間中)			
73kg級 優勝 野澤 貴哉(高尾台中)	57kg級 優勝 西 結穂(笠間中)			
81kg級 優勝 深谷 悠聖(高尾台中)	63kg級 優勝 堀 紗羅葉(北辰中)			
90kg級 優勝 寺下 仁悠(高尾台中)	70kg級 優勝 河崎 蒼(高尾台中)			
90kg超級 優勝 酒井 綾人(内灘中)	70kg超級 優勝 廣江 清葉(高尾台中)			

〈 高 校 生 〉

令和2年度石川県高等学校新人体育大会 柔道競技	11/12～14	石川県立武道館	男子団体 優勝 津幡 2位 鶴来 3位 羽咋 3位 県立工業	女子団体 優勝 津幡 2位 金沢学院 3位 鶴来 3位 星稜
男子個人	女子個人			
60kg級 優勝 倉沢虎之介(航空石川)	48kg級 優勝 松本 万優(金沢学院)			
66kg級 優勝 石川 大真(鶴来)	52kg級 優勝 松本 光里(金沢学院)			
73kg級 優勝 福田 悠真(鶴来)	57kg級 優勝 北野 那美(津幡)			
81kg級 優勝 松田 陸(鶴来)	63kg級 優勝 戸淵 望愛(津幡)			
90kg級 優勝 安田 琢磨(津幡)	70kg級 優勝 辻 なる(津幡)			
100kg級 優勝 生田勇次郎(津幡)	78kg級 優勝 安田 美友(津幡)			
100kg超級 優勝 川口 敬志(津幡)	78kg超級 エントリーなし			

第43回全国高等学校柔道選手権大会 石川県大会	R3/1/23～24	石川県立武道館	男子個人	女子個人
60kg級 優勝 大河内優斗(金沢)	48kg級 優勝 松本 万優(金沢学院)			
66kg級 優勝 石川 大真(鶴来)	52kg級 優勝 松本 光里(金沢学院)			
73kg級 優勝 南出 健慎(鶴来)	57kg級 優勝 北野 那美(津幡)			
81kg級 優勝 清水 貫汰(羽咋)	63kg級 優勝 辻 なる(津幡)			
無差別 優勝 生田勇次郎(津幡)	無差別 優勝 喜多なつみ(津幡)			
男子団体 優勝 鶴来 2位 津幡 3位 航空石川 3位 県立工業	女子団体 優勝 津幡 2位 金沢学院 3位 金沢桜丘 3位 鶴来			
最優秀選手 福田 悠真(鶴来)	最優秀選手 喜多なつみ(津幡)			
優秀選手 井口 栄(航空石川)、安田 琢磨(津幡)、村田 翔海(県立工業)、喜成 昌輝(鶴来)	優秀選手 田淵古都和(金沢学院)			
敢闘賞 谷内 裕一(金沢桜丘)				

第43回全国高等学校柔道選手権大会	R3/3/19～20	日本武道館	男子団体 開催無し	女子団体 開催無し
男子個人	女子個人			
60kg級 大河内優斗(金沢)3回戦敗退	48kg級 松本 万優(金沢学院)2回戦敗退			
66kg級 石川 大真(鶴来)2回戦敗退	52kg級 松本 光里(金沢学院)1回戦敗退			
73kg級 南出 健慎(鶴来) ベスト8	57kg級 北野 那美(津幡)3回戦敗退			
81kg級 清水 貫汰(羽咋)2回戦敗退	63kg級 辻 なる(津幡) ベスト8			
無差別 生田勇次郎(津幡)1回戦敗退	無差別 安田 美友(津幡)1回戦敗退			

〈 大 学 生 〉

第39回北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会	9/22	石川県立武道館	男子個人	100kg級 優勝 室木 修幸(北陸大)
第32回北國杯北信越女子学生柔道体重別選手権大会			60kg級 優勝 大岡 京聖(北陸大)	2位 小宮 大俊(北陸大)
			2位 大谷 衛(北陸大)	3位 黒坂 雄大(金沢学院大)
			3位 林 尚弥(金沢学院大)	100kg超級 優勝 中村 拓郎(金沢学院大)
66kg級 優勝 寺本 祥稀(金沢学院大)	2位 岡田 龍馬(金沢学院大)			
3位 小野 賢男(金沢学院大)	3位 小田 大雅(金沢工業大)			
3位 徳田 歩純(北陸大)	3位 池本 力哉(金沢学院大)			
73kg級 優勝 岩見 侅汰(北陸大)	女子個人			
2位 轟 拓磨(北陸大)	52kg級 優勝 佐々木郁実(金沢学院大)			
3位 山崎 晃征(北陸大)	3位 小室 藍梨(金沢学院大)			
81kg級 優勝 喜成 健斗(金沢学院大)	63kg級 優勝 小松 涼(金沢学院大)			
2位 宮崎 應介(北陸大)	2位 前川菜央子(金沢学院大)			
3位 大洞 立樹(金沢学院大)	3位 渡辺 悠花(金沢学院大)			
90kg級 優勝 濱谷 拓斗(北陸大)	63kg超級 優勝 中森 華音(金沢学院大)			
2位 高橋 駿介(金沢学院大)	3位 萩野 文香(金沢学院大)			
3位 河野 傳(金沢学院大)				
3位 吉岡 好誠(北陸大)				

〈 一 般 〉

令和2年度石川県男女ジュニア柔道体重別選手権大会	5/10	石川県立武道館	中止
第57回石川県体重別柔道選手権大会	6/7	石川県立武道館	中止
第75回国体出場選手選考会	7/12	石川県立武道館	中止
石川県社会人柔道大会(男子第48回・女子第2回)	9/27	石川県立武道館	中止
令和2年度石川県段別柔道選手権大会	11/29	石川県立武道館	中止
令和2年度石川県柔道選手権大会			
令和2年度石川県女子柔道選手権大会	1/31	石川県立武道館	延期 (開催日未定)

令和2年度第22回北信越柔道「形」競技会	2/21	上越市謙信公武道館			
固の形	取：大黒 英理	受：上濃 達朗	優勝		
柔の形	取：宮本 晃	受：宮本栄美子	2位		
講堂館護身術	取：武田 純	受：高岡 浩平	2位		

委員会報告

総務委員長 **本出 正博**
令和2年度の石川県柔道連盟各種行事も、会員各位のご協力により無事終了できましたことに深く感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、どの方面に関しても激動の一年だったかと思います。当連盟の事業も前期はほぼ中止となり、8月から高体連の大会が開催され徐々に地区の大会が開催されるようになってきました。会議も、従来の参加型からリモート開催も行いハイブリッド形式を行っています。以前のような事業が今後しばらくはできないと思いますが、連盟一丸となってこの難局を乗り切っていきたいと考えております。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

審議委員長 岡田 勝

令和2年度の審議を担当させていただきました。関係役員の方々、そして昇段参加者の方々には、多大なご協力を賜り誠にありがとうございました。

5月の昇段審査は中止、7月は最終学年者を書類審査とさせていただきましたが、9月は小松・七尾・金沢で、2月（県武）は予定通りの開催の運びとなりました。

9月に新潟県高田市に於いて、北信越昇段審議会が開催され、当県から八段2名・七段3名の昇段が承認され、11月には講道館にて全国高段者大会が開催され、当県から3名が参加されました。

現在は、一つの昇段に一つの形の取得が必要です。今こそ、乱取りと合わせて形の修行に励まれるのも一考かなと思います。

柔道発展のため、皆様のさらなるご協力をよろしくお願いたします。

競技委員長 上野 純一

令和2年度は新型コロナウイルス感染予防、選手の安全面を考慮し、県柔連主管6大会のうちジュニア体重別選手権、体重別選手権、国体選手選考会、社会人大会、段別選手権の5大会が中止となりました。令和2年度最後の県柔道選手権大会は、出場選手の人数制限、コロナ対策を十分に行い開催予定ではありませんが、全日本選手権大会が延期になったため、それに伴い同大会も延期（開催日未定）となりました。

令和3年度においても終息が見えないコロナ禍において開催する大会では、県コロナ感染症対策委員会と連携を密にし、ガイドラインに沿って選手が安心して試合に集中できるよう選手ファースト、安全第一で大会運営を行ってきたいと思います。皆様のご協力のほどをよろしくお願いいたします。

審判委員長 渡辺 直勇

令和2年度石川県柔道連盟が主催大会の試合については、1月に開催された全国高等学校選手権大会石川県大会以外は新型コロナウイルス感染予防の為、中止及び延期となりました。そのため審判活動も出来ない状況でした。また、開催大会後は感染者の報告もなく無事終わることが出来ました。今年度からは全ての大会でインカムを導入する予定です。今年度から引き続き導入していく予定です。イヤホンの購入については、県柔連で準備し各自で購入して頂くことにしたいと考えております。金額としては税込み1,300円程度の予定です。また、併せまして「一審制審判」の導入についても検討しています。審判員の方々については1人審判にご協力願いたいと思います。すぐに

は慣れないと思いますが、審判技術レベル向上の為に邁進くださりますようお願い申し上げます。

安全指導委員長 山崎 圭子

想定外の事態から可能性を追求し模索を重ねた令和2年度。新型コロナウイルス感染症予防対策を捻出、徹底して行動に移すことで、新しい生活様式に準ずる柔道稽古やいくつかの大会、さらにはオンラインで安全指導講習会も開催できました。皆様の並々ならぬご尽力の賜と深く感謝いたします。その中で再認識したことは、「すべての人が安全・安心に柔道ができる環境をつくる」ということです。適切な情報を伝達して実行することが、怪我予防にもつながります。柔道に関わるもの、すべてを守るための行動をしていきましょう。また誰もが怪我や感染するリスクを伴っています。予防を徹底することは必須ですが、万が一発生した場合は速やかに対処して、誹謗中傷から守る行為も必要です。今こそ柔道家として「精力善用・自他共栄」が大いに発揮されることを願います。今年度も皆様のご理解とご協力のもと、安全・安心な柔道が継続していきますことを、心よりお祈り申し上げます。

形委員長 上濃 達朗

コロナウイルスの影響により、形委員会では例年4回の形講習会を行っておりましたが、本年度は7月までの形講習会を中止とし、9月に金沢・小松・七尾でそれぞれ講習会を行いました。活動が制限される中ですが参加して頂いた受講者は感染対策をしっかりと行い、真摯に受講されておりました。昨年度に行いました石川県形競技大会も本年度は稽古納め中止に伴い開催することはできませんでした。柔道だけに限らずコロナウイルスで大変な時期ではありますが、世の中が落ち着いた時に盛り上げていけるよう準備しておきたいと思います。

強化委員長 川端 健司

2020年度はコロナ禍により、多くの大会や強化活動が中止・延期となりました。

その一方で、12月に開催された全日本柔道選手権大会および全日本女子柔道選手権大会では、本県より男子1名、女子2名の選手が北信越地区代表として出場し、全国の舞台で堂々たる戦いを披露しました。

強化活動においては、オンラインツールを活用した強化講習会を初開催し、新たな強化手段を探る絶好の機会となりました。

2021年度はコロナ禍で培った経験を糧に、収束後の各大会を見据えた強化を図りたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

指導普及委員長 麻井 正和

今年度は新型コロナウイルスの流行で公認指導員養成講習会が実施できるのか大変不安でしたが、多くの先生方のご協力のおかげで、全事業を無事に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。さて、今年度も11月、12月に指導員養成講習会を実施し、C指導員25名（大学生が15名）、B指導員3名の合格、30名の先生方が資格更新を行いました。新規受講者以外は実技以外の講座をリモート受講という形を取り入れました。何点かトラブルもありましたが、意見交換もしっかりと行うことができました。来年度も状況に応じた形で指導者講習会を実施し県全体の指導力向上と普及振興を図りたいと思います。みなさまのさらなるご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

^[1]
^[2]